

総 括

日本医師会副会長

石川高明

大変長時間にわたりましてSARSの問題についてご協議いただきましてありがとうございました。

日本医師会からは、ご承知のように、3月からかなり情報が流れていました。ただ、5月の下旬に、地元でSARSに関する情報を地区医師会で集めてみましたところ、私の手元に入ったのは、厚生労働省からの資料で、日医からの資料は見当たりませんでした。この問題は、非常に大切な問題ですし、櫻井常任理事にお話をし、ぜひこういう対策会議を開く必要があるのではないかということで、5月7日の常任理事会で決めていただき、1週間でこのような会を開かせていただき、大変急で申し訳なく思っております。非常に重要な問題ですので、やむを得なかった面もあると、自己弁護ではございませんが、思っているところです。

ただ、患者がまず医療機関の外来に来るということは、ほとんど間違いないと思います。もちろん、どこどこへ行きなさい、ということもPRしても、

まずおいでになるのは、医療機関の外来に相談に来るのではないかと思います。その場合に、医療機関がきちんと対応してほしいと思います。

先ほども岩手県の先生からは、責任を持ってやっていただいているというお話でしたから、私は全国の医療機関がきちんと対応してくれると思っております。その医療機関をどうやってプロテクトするようなシステムをつくるかということも非常に肝要です。京都府医師会からも、被害を最小限に止めるシステムをつくるのが肝要だというようなご提案もございましたし、日本医師会としても、先生方と協議をして早急にこういうシステムをつくっていくことが肝要だと思っております。

これからも懸命にこの問題に取り組んでいきますので、いろいろな面でご協力・ご支援を賜りますようお願いをしまして、閉会の挨拶といたします。本日はどうもありがとうございました。